

case
13

九州地方・宮崎県

phile number 0000
M邸

インストール／木田電業

デザイン黄金時代の 名作と暮らす映画館

文／編集部 写真／草野清一郎



家族みんなでワクワク週末はシアターナイト

ウォールユニットシェルフや細長い脚のついたキャビネット、布張りのソファ。まるで北欧ヴィンテージ家具店に足を踏み入れたようなリビングに美しいホームシアターがインストールされている。

そのコンセプトは、オーナーのMさんがアメリカ在住時に収集したヴィンテージのデンマーク家具に馴染むホームシアターをつくることだった。インストールを手がけたのは木田電業の井上祐樹氏。家具が映えるこだわりの家をつくるため、自ら設計図を起こしたご主人の熱意に応えるべく、機器が住まいと調和するようなプランを提案した。

フロントとセンタースピーカーはご主人が十数年前から所有していたB&W「704」「CM Center」を使い、ドルビーアトモス5.1.4chを実現させた。リビングであればリアスピーカーは動線の邪魔にならないように埋め込みもしくは天井吊りというのが定石だが、臨場感を追求したいというご主人の希望に沿って、リアスピーカーにはイクリプスの「TD508MK3」を選んで床置きに。普段は邪魔にならないような位置に置き、映画鑑賞時に定位置に移動させるスタイルとした。



週末の「シアターナイト」にはお子さん二人が自発的にポップコーンをつくってくれるのだとか。シアターナイトまでの準備もお子さん二人にとってのイベントなのだ。

かだったが、ウォールユニットシェルフの下に下がり天井を設けて設置することで障壁をクリア。家具の奥行きやスクリーンとのクリアランス、プロジェクターの投写距離などを考慮した上で120インチを選んだ。プロジェクターはビクター「DLA-V70R」を梁に天井吊り設置した。もちろん機器の配線は目につかない。「毎週末は家族で「シアターナイト」を開催していますよ。娘は自分たちが映画を観たいから、ポップコーンづくりもスピーカーの移動も率先してやってくれるんです」とMさん。



1 スクリーン後ろにある家具の奥行き、プロジェクターの投写距離を考慮して、スクリーンサイズは120インチをチョイスした。2 プロジェクターはビクター「DLA-V70R」。3 スクリーンの設置に制約が多い吹き抜けだが、下がり天井を設けることで取り付けられた。

4 フロントスピーカーにはご主人が十数年前に購入したB&W「704」を使用。5 リアスピーカーはイクリプス「TD508MK3」を床置き設置している。普段は部屋の隅に置き、使用の度に動かしている。6 センタースピーカーはB&W「CM Center」。普段はラックの扉を閉めてスピーカーが見えないようにしている。7 AVアンプやプレーヤーはラック内に収めている。8 トップスピーカーはイクリプス「TD307MK3」を壁掛け設置。ブラケット照明の位置ともバランスを取っている。



視聴位置後方の様子。往時のファブリックを用いたソファやシェルフなどのヴィンテージ家具で見事に統一されたLDKに、プロジェクターやトップスピーカーなどがさりげなく設置されている。

美しきリビングに 迫真の立体音響が共存



9 1940~60年代に人気を集めたウォールユニットシェルフが存在感たっぷり。10 チーク特有の美しい木目、細い脚がデンマーク家具ならではのチェスト。

HOME THEATER DATA

- 住宅形態:戸建/新築
- 家族構成:夫婦+子ども2人
- ホームシアターの広さ:約34畳
- 画面サイズ:120インチ+65インチ
- サラウンド:5.1.4ch
- インストール内容:機器設置、システムプランニング ほか

SYSTEM LIST

- プロジェクター:ビクター DLA-V70R
- スクリーン:オーエス EP-130HM-MRK1-WF204
- 有機ELテレビ:ソニー XRJ-65A80J
- AVアンプ:デノン AVR-X4700H
- Ultra HDブルーレイプレーヤー:ソニー UBP-X800M2
- フロントスピーカー:B&W 704
- センタースピーカー:B&W CM Center
- リアスピーカー:イクリプス TD508MK3
- トップフロント&トップリアスピーカー:イクリプス TD307MK3
- サブウーファー:イクリプス TD520SW

INSTALL

木田電業
〒889-1801 宮崎県都城市山之口町富吉4192-4
☎0986-57-4305
<https://www.kida-dengyo.com/>

井上祐樹氏
philenumber:2170

